

西部家畜保健衛生所 ○吉野川庁舎 〒776-0002 吉野川市鴨島町麻植塚136-3 TEL 0883-24-2029 FAX 0883-24-1397
○東みよし庁舎 〒779-4703 三好郡東みよし町中庄856-1 TEL 0883-82-2397 FAX 0883-82-4843
家畜保健衛生所ホームページURL <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/sangyo/chikusangyo/2014022000090/>

畜産農家の皆様へ

家畜排せつ物の適正管理について

県内の河川流域における耕作地において、家畜排せつ物が放置される事案がありました。

一定規模の畜産農家の皆様は「家畜排せつ物法」に基づき、管理基準に従った家畜排せつ物（ふん・尿）の適正管理が義務付けられています。

また、畜産業で発生した「家畜排せつ物」は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で規定する「産業廃棄物」にあたり、排出業者が自らの責任で、適正に処理しなければなりません。

※「産業廃棄物」を投棄した場合の罰則

- 5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金（法人の場合は3億円以下の罰金）または併科
（廃棄物の処理及び清掃に関する法律 罰則 第二十五条、第三十二条）

詳しくは、最寄りの家畜保健衛生所まで御連絡ください。

＜連絡先＞ 西部家畜保健衛生所

吉野川庁舎 0883-24-2029

東みよし庁舎 0883-82-2397

家畜保健衛生所は、休日・夜間も24時間対応しています

家畜の病気を防ぐために

アフリカ豚熱、口蹄疫について

近隣国で継続的に発生、拡大しており、引き続き、日本国内への侵入に警戒が必要です。

- アフリカ豚熱は、2018年に中国に侵入後、**アジア各国に拡大**。
- 口蹄疫は、**多くの国で継続的に発生**。
- いずれの病気も発生していないのは、日本や台湾などごく限られた国・地域

アフリカ豚熱 (ASF)



特性

致死率はほぼ100%（基急性、急性型の場合）
ウイルスは長期間にわたって環境中に生存（冷凍なら**1,000日**以上も）
● pH4～11でも、血液や糞便中でも、豚肉や加工品（塩漬ハム等）の中でも生存できる

予防・治療

有効な治療法や予防法はない、ワクチンはない

損害

中華人民共和国で死亡・殺処分により飼養頭数が4割減り、豚肉価格が2倍以上に（2019年の事例）

口蹄疫 (FMD)



特性

口や蹄にできた水疱が痛くてエサを食べなくなり、産業動物としての価値が著しく低下
ウイルスの感染力が極めて強い
● 空気感染する（風に乗って**60km**以上離れた農場に移った例も）
● 豚1頭が1日に排出するウイルス量は牛を最大**1,000万頭**感染させる量に相当

予防・治療

有効な治療法はない、ワクチンはあるが感染自体は防げない

損害

過去に国内で30万頭の牛・豚を殺処分し、2,350億円の被害
（2010年の発生に関する宮崎県の試算、関連産業含む）

- : アフリカ豚熱・口蹄疫が発生している国・地域
- : アフリカ豚熱のみ発生している国・地域
- : 口蹄疫のみ発生している国・地域
- : いずれも発生していない国・地域

2024年1月10日時点



豚熱 について

平成30年9月の発生以降、国内での豚熱の発生は、飼養豚では21都県92事例にのぼり、**今年5月**には**栃木県**、**岩手県**で相次いで発生がありました。

県内でも、野生いのししでの感染確認（52事例、令和6年5月末現在）が続いており、農場における発生防止対策の徹底と、適時・適正なワクチン接種をお願いします。

農場における発生予防対策のポイント

○ 豚熱の発生予防対策として、①人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止、②野生動物対策が重要



特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう！



家畜の病気を防ぐために

高病原性鳥インフルエンザについて

令和5年シーズン、家きん農場では全国10県11事例で発生しました。

過去最大の発生となった令和4年シーズンに比べ、事例数は減少しましたが、4年連続の発生は初であり、今秋以降も、渡り鳥の飛来によって本病が国内に侵入リスクは高く、飼養衛生管理の遵守が求められます。

発生予防対策を徹底し、早めに次シーズンに備えましょう。

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の**手指消毒**等
- ② 衛生管理区域**専用の衣服及び靴**
- ③ 衛生管理区域に立ち入る**車両の消毒**
- ④ 家きん舎に立ち入る者の**手指消毒**等
- ⑤ **家きん舎ごと**の**専用靴**
- ⑥ 野生動物侵入防止のための**ネット**等
- ⑦ **ねずみ、害虫**の**駆除**

令和5年度 国内発生状況（令和6年5月15日時点）

○家きん 10県11事例

	地域	疑似患者判定日	用途	羽数(約)	亜型
1	佐賀県鹿島市	11/25	採卵鶏	4万羽	H5N1
2	茨城県笠間市	11/27	採卵鶏	7.2万羽	H5N1
3	埼玉県毛呂山町	11/30	採卵鶏	4.5万羽	H5N1
4	鹿児島県出水市	12/3	採卵鶏	2.3万羽	H5N1
5	群馬県高山村	1/1	採卵鶏	36万羽	H5N1
6	岐阜県山県市	1/5	肉用鶏	5万羽	H5N1
7	山口県防府市	1/27	採卵鶏等	23羽	H5N1
8	香川県三豊市	2/6	採卵鶏	7万羽	H5N1
9	鹿児島県南さつま市	2/11	肉用鶏	5400羽	H5N6
10	広島県北広島町	3/12	採卵鶏	8万羽	H5N1
11	千葉県富里市	4/29	採卵鶏	6.3万羽	



○野鳥 28都道府県156事例

○飼養鶏 2県2事例

熱中症特別警戒情報

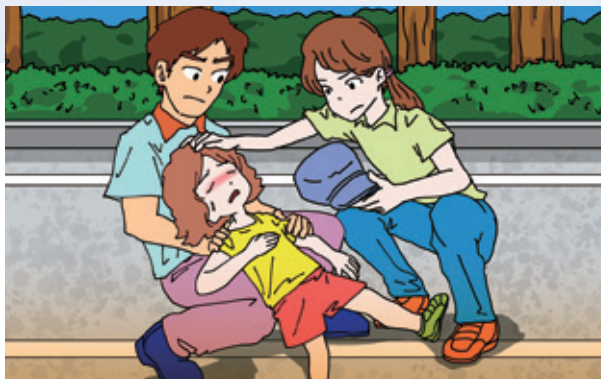
[熱中症特別警戒アラート]

熱中症予防情報サイト



熱中症特別警戒アラートとは

- ・広域的に過去に例のない危険な暑さ等により、熱中症救急搬送者数の大量発生を招き、医療の提供に支障が生じるようなおそれがある場合に発表されます。
- ・具体的には、都道府県内の全ての暑さ指数情報提供地点において暑さ指数35以上となる時などが該当します。



熱中症特別警戒アラート等の色のイメージ

熱中症特別警戒アラート(熱中症特別警戒情報) 発表中

熱中症警戒アラート(熱中症警戒情報) 発表中

暑さ指数31・32に達する地域※

※暑さ指数31以上は、日本生気象学会の指針によると、危険とされており、日本スポーツ協会によると、運動は原則中止とされている。

熱中症を予防するために

- ・高齢者、乳幼児等の熱中症にかかりやすい方の周りの方は、熱中症にかかりやすい方が室内等のエアコン等により涼しい環境で過ごせているか確認してください。
- ・熱中症にかかりやすすくない方も、水分補給・塩分補給をしてください。
- ・校長や経営者、イベント主催者等の管理者は、全ての人が熱中症対策を徹底できているか確認し、徹底できていない場合は、運動、外出、イベント等の中止、延期、変更(リモートワークへの変更を含む。)等を判断してください。



環境省

熱中症に関する情報

暑さ指数、熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート等

暑くなる前に

- 熱中症やその対策等について学ぶ
- 住まいの工夫など（エアコンの試運転）
- 暑さになれて、暑さに強くなる準備（暑熱順化）

暑さ指数を提供している全国約840地点で、
気象情報を基に暑さ指数の予測値を算出

熱中症警戒アラート

前日17時頃に
該当地域に発表

当日5時頃に
該当地域に発表

前日

3:00

6:00

9:00

12:00

15:00

18:00

21:00

0:00

当日

3:00

6:00

9:00

12:00

15:00

18:00

21:00

熱中症特別警戒アラート

前日14時頃に
該当地域自治体に発表

当日0:00～23:59まで

■発表時

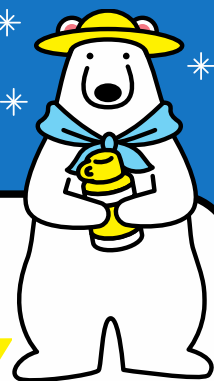
- ・熱中症予防行動の徹底
- ・家族や周囲の人々による見守り、声かけ等の共助等と公的な支援である共助も活用
- ・運動、外出、イベント等の中止や延期を検討推奨

共通する当日までの準備・確認事項

- ・涼しく過ごせる環境の確保
- ・水分、塩分補給の準備
- ・高齢者、乳幼児等熱中症にかかりやすい方への準備を確認
- ・翌日の運動、外出、イベント等の中止や延期を判断

※熱中症特別警戒アラート及び熱中症警戒アラートの発表後の取り消し、また解除の案内はございません

熱中症予防のために



暑さを避ける!

❄️ 扇風機やエアコンで
温度をこまめに調節



❄️ 遮光カーテン、すだれ、
打ち水を利用



❄️ 外出時には日傘や
帽子を着用



❄️ 天気のよい日は日陰の
利用、こまめな休憩



❄️ 吸湿性・速乾性のある
通気性のよい衣服を着用



❄️ 保冷剤、氷、冷たいタオル
などで、からだを冷やす



『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する!

❄️ 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくても
こまめに水分・塩分などを補給



● 熱中症予防のための情報・資料サイト

熱中症予防のための情報・資料



スマホでも
見れます



https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症の症状



！ 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

❄️ エアコンが効いている
室内や風通しのよい日陰
など涼しい場所へ避難



❄️ 衣服をゆるめ、からだを
冷やす
(首の周り、脇の下、足の付け根など)



❄️ 水分・塩分、経口補水液※
などを補給
※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



チェック！ 自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、
ためらわずに救急車を呼びましょう！



ご注意

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。
体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防！

暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機や
エアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

高齢者や子ども、障害のある方は、特に注意が必要！

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。
高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、
暑さに対するからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。
また、子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

こまめに
水分補給



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare